

各報道機関 様

令和2年7月1日配信

嬉野市立塩田小学校「鍋野和紙手漉き体験」について

校区内鍋野地区にある「鍋野手漉き和紙工房」の西野様と保存会の方々に毎年ご協力をいただき、6年生が体験させていただいています。鍋野手漉き和紙は、300年以上の歴史がある伝統工芸です。盛んな頃は、年産112トンほど塩田津から長崎などへ積み出されていたそうです。昔は、農閑期の仕事だったそうで、鍋野地区のたくさんのお家で作られていました。鍋野の和紙づくりの主な原料は、楮（こうぞ）と糊の役目になるトロロアオイ、水です。トロロアオイも、ここで栽培されていて、使用する水も 鍋野川から汲んで使っているそうです。子どもたちは、木枠を漉き船（原料を入れて紙を漉く容器）に45度ぐらいの角度にいれます。角度が低かったり高かったりすると、水や空気が入ったりしてしまうので、子どもたちの目は真剣になります。枠に原料を入れようとすすぎる子、原料がこぼれないように低くしすぎる子…、水を切り、乾燥させるまで、手作業の楽しさ、難しさを体験します。卒業式では、鍋野手漉き和紙で作った卒業証書を使わせていただきます。

<鍋野和紙手漉き体験>

- 1 目的 体験活動を通し、ふるさとを知りふるさとを愛する心情を育む。
- 2 日時 令和2年7月9日（木） 13時45分～15時30分
- 3 場所 鍋野手漉き和紙工房
- 4 対象 塩田小学校6年生 19名
- 5 学校情報 嬉野市立塩田小学校 校長 橋本 幸雄
全校児童 141名
849-1411 嬉野市塩田町大字馬場下甲 3817 番地
TEL 0954-66-2051
担当者 教頭 池田直人

<お問い合わせ>

嬉野市役所 学校教育課
担当 植松 崇寛
TEL 0954-66-9128